

## ■平成26年度 第3回 大和市街づくり推進会議 会議録■

[会議名称] 平成26年度 第3回 大和市街づくり推進会議

[開催日時] 平成26年10月6日(月) 14時から16時

[開催場所] 市役所本庁舎5階 第6会議室

[出席委員] 10名(欠席:0名)

[出席]: 饗庭 伸/相原 聡/宇津木 朋子/須賀 良二/菅 孝能/仙石 裕明/仲村 邦弘  
/星野 澄佳/松本 久美/吉田 洋子

[欠席]: なし

[事務局] 5名(街づくり推進課課長、街づくり推進担当 2名  
街づくり総務課 街づくり調査担当 2名)

[担当課] 街づくり計画部 街づくり推進課 tel.046-260-5483

[傍聴者] 0名

[公開の状況] 公開

---

### I. 会議次第

---

1. 開会
2. 報告  
大和駅東側第4地区第一種市街地再開発事業の進捗について
3. 議題  
平成26年度街づくり啓発事業について
4. その他
5. 閉会

### II. 内容

---

1. 開会
2. 報告  
  
大和駅東側第4地区第一種市街地再開発事業の進捗について  
・資料をもとに、事務局より説明  
質疑応答(○…委員、▼…市)

---

○今回の報告について質疑のある方は申し出てください。

○駐車場の出入り口についてと、飛行機への対策について詳しく伺いたい。

- ▼出入り口に接続している既存の道路は6 mだが、今後拡幅する予定である。
- ▼ホールについては、飛行機の騒音ももちろんだが、地下を走る電車の騒音、振動への対策も行う。また、ホールと同様に清閑な環境が求められる図書館などもこれらの問題に配慮をしている。設計業者も施工業者もその点をかなり気にしている。
- ▼工事についても、厚木飛行場による航空法の制限がある。建物だけでなく、作業用のクレーンも一定の高さ以上にする事ができないことから、工法も工夫しながら進めている。
- ▼以前、街づくり推進会議には土地区画整理事業で受けたまちづくり交付金の事後評価についてご意見をいただいた。その際に、もう少し早い段階で評価項目等に対して意見できる機会があれば良かったというご意見をいただいた経緯もあり、逐次ご報告をさせていただいている。
- ▼補助金に関する事後評価の内容についてご要望等あれば、早めに調書等を作成してお渡しすることもできるかもしれない。
- どのような補助を受けているのか。
- ▼防衛省や国土交通省の補助である。
- 防衛の補助の名目は何か。
- ▼民生安定施設という名称になるが、その中を生涯学習センターやホール、図書館、子育て施設等の様々な名目に分けており、また、国土交通省の補助とも見比べながら、最大限補助を受けられるように調整をしている。
- 時期が近くなれば、前回の土地区画整理事業のときのように評価シートを渡されると思うが、前回出した意見のように、評価シートを早い段階でいただき、評価の内容についても意見できた方が建設的だろう。
- ▼評価シートを作成する段階でお伺いした方が良いか。
- ▼今年度は難しいかも知れないが、来年度以降に情報提供やお伺いをさせていただきたい。
- それでは、そのようにしていただきたい。他に意見がなければ、この報告は終了とする。

### 3. 議題

平成26年度街づくり啓発事業について

- ・資料1-1、2、3をもとに事務局より説明
- 質疑応答（○…委員、▼…市）

- 前回の議論の続きとなるが、決定事項としては中央林間地区を対象にした啓発事業を考えていくということであった。中央林間地区のデータ等を事務局から事前に送られているが、これらの内容を参考にしながら検討していく。
- 単純にデータによれば、若い世代が多いということと共同住宅に住んでいる方が多いということが分かる。このことを踏まえて、どのような方々を対象とするのかなども含めて考えていきたい。
- また、今年度中に市で策定を予定している中央林間地区街づくりビジョンとの関連性についても考慮する必要があるだろう。
- 中央林間地区街づくりビジョンの具体的な内容や策定段階での市民参加についてどのように考えてい

るのか。

▼基本的には資料にあるとおりだが、このビジョンはある程度行政主導で進めていく必要があると考えている。具体的な作業状況だが、駅周辺の人の流れや車の流れを調査し、集計を行っているところである。

▼例えば、人と車が錯綜して交通安全上問題のある箇所や歩道がない、あるいは狭い等の危険な箇所の改善など、比較的行政が主導で進められる点について調べている。

▼高座渋谷駅周辺の土地区画整理事業や大和駅の市街地再開発事業などと異なり、中央林間地区は民間主導による都市開発によって、すでにまちの姿が出来上がっている。そのような地区での市街地開発事業は考えていない。市全体を見渡したときに、他に比べて足りていない公共施設等があれば、行政が責任を持って整備する必要がある。

▼市民参加という点では、行政主導で進めていくということもあり、どのように行っていくかを検討している。中央林間地区には地元自治会の連合からなる街づくり委員会が組織されているが、どのように係わるかについてはまとまっていない。しかしながら、ある程度案がまとまった段階で、地元には示していきたい。

○今年度中にビジョンを策定していくとして、来年度以降はどのような予定になっているのか。

▼ビジョンは街づくりの構想なので、ビジョンに基づき、緊急的に行政で対応しなければいけないようなものがあれば事業として行っていく。現段階では未定である。

○過去の市民意識調査のデータがあると思うが、今回のビジョン策定にあたり、新たに意識調査等を行う予定か。

▼今回のビジョン策定にあたり、意識調査等を行う予定はない。しかし、過去に行った意識調査のデータがあるので、確認をしている。現在分かっている状況では、調査当時に要望が高かった施設と現状を見て足りていないと思われる施設は、あまり変化がないように感じられる。

○民間の開発で進められ、分譲も進んでいる。行政主導とはいえ限界はあるだろう。

▼おっしゃるとおりである。特に駅周辺においては、小田急電鉄と東急電鉄の協力は不可欠である。例えば、駅北口の駅前広場は一面駐輪場となっているが、10月よりコミュニティバスの新ルートを運行するにあたり、駐輪場の一部を撤去してバス停留所を整備することとなっている。駐輪場を所有する小田急電鉄と市の土地を等価交換することで駅前の敷地を取得した。

▼また、東急電鉄においても、田園都市線沿線の街づくりを各自治体と協力して進めている。東急電鉄の街づくりの方針とも調整をしているところである。

○ビジョンで想定している地区の範囲などは決まっているのか。

▼明確な区域は定めていない。しかし、国の方針であるコンパクトシティの考え方に準じ、駅周辺の一定の範囲内と考えている。

○駅前の交通や駅周辺の踏み切りなどに関して課題があるのは間違いないだろう。

○コミュニティセンターや広場などの場所や、地元商店街でのお祭りや駅前で開催しているマルシェなどのイベントも絡めて、場所・人・イベントとの連携が考えられるが、ビジョンの中ではどのように捉えているのか。

▼行政主導で実施するというのは、市が責任を持って進められるハード面に関するものが主であり、比較的短期に実現することも可能かもしれない。しかし、全体的な街づくりを考えたときに、場所を整

備しても、人が寄らずに閑散としていては意味のないものになってしまう。

- ▼駅前イベントや地元のお祭りなども絡めて、人が入ってくる仕組みは必要であると考えているが、そこが一番難しいところであると認識している。市や各鉄道事業者が中心となってイベント等を仕掛けていき、将来的には住民が主体的に活動できるような流れができれば良い。
- 過去の市民意識調査から読み取れる問題やニーズはどのようなものか。
- ▼図書館等の文化的施設が欲しいという意見が見受けられる。スポーツ施設も同様で、南のまち、中央のまちに比べると、市民が気軽にスポーツを楽しめる環境が少ないように感じる。また、小さい子どもが遊べる遊具等が整備された公園もあまりない。
- ビジョンについて一通り質問を出したが、ビジョンの内容も参考にしながら、街づくり啓発事業の案について議論をしていきたい。
- 事業を開催するのは2月から3月を予定しているのか。
- ▼広報などの兼ね合いから1月の開催は難しいので、それくらいの時期になるだろう。
- 年度を越す可能性はあるか。
- ▼来年度の開催となっても差し支えはない。
- 街づくり賞のように長いスパンで実施する事業と捉えて良いだろうか。最短で2月の開催ということになるか。
- ▼そのとおりである。
- ▼参加者を募集するとなると、広報やまと2月1日号に掲載するので、募集期間を考えても2月中旬の開催は難しい。
- 予算はどれほどか。
- ▼街づくり賞で予定している金額を使用できるだろう。また、街づくり専門家を派遣する費用は別途支出することはできる。
- 会場代もその中から支出されるのか。
- ▼学習センター等の公共施設を利用すれば、費用はかからない。
- ▼民間の施設を使用するとなると必要になってくるかもしれない。
- 若い世代が会いたいと思う著名人等が呼べると良い。ただし、3月までと考えるとスケジュールが埋まっていて難しいだろう。
- 中央林間のマルシェはどれくらいの頻度で開催されているのか。
- ▼年2回春と秋にそれぞれ開催している。
- ▼駅前の民間施設を中心に出店を並べ、手作り品の販売や演奏などの各種イベントを開催している。
- 街づくり啓発イベントに参加するというのは、なかなかハードルが高いだろう。すでに開催している大規模なイベント等に併せて開催することで多くの人に参加していただけるだろう。
- 他のイベントで言えば、毎月のようにコミュニティセンターでイベントを開催しているが、そのようなイベントも活用できるのではないか。
- 若い人を呼ぶことができる仕掛けがあると良い。
- 自治会単位であれば防災訓練などの行事を行っているので、利用できるかもしれない。
- コミュニティセンターなどの施設で開催すると閉鎖的になってしまう。外の人通りが多い場所で公開型のイベントができると良い。

- 中央林間の商業施設で利用できるスペースはないか。そういう場所で展示などを行えば普段は集まらないような方に来ていただけることもある。
- ▼中央林間地区で人が集まれるような施設が少ないことも問題かもしれない。駅から少し離れたコミュニティセンターや自治会の集会場などがあるくらいだろう。あるいは多胡記念公園の慈緑庵もあるが、人が集まるには少々狭い。
- これまで街づくり活動を進めてきた方々が活動を発表し合えるように展示ができると良い。
- 前回の議論で出された検討事項の事業の着地点や開催目的を明確にしないと細かい話はできないだろう。今の話は大和で街づくりを進めている方を集めた交流会を中央林間で開催するということになるだろう。
- なおかつ、そこで中央林間周辺の若い世代が集まると良い。
- いただいた中央林間のデータを見る限り、この地区があまり深刻な問題に直面している様子が見えない。もちろん交通安全などの重要な問題はあるだろうが、他の地域が抱えているような深刻で喫緊の課題はないことが難しい。地域が一つになるのは、何か問題を抱えているときや目標があるときである。
- 中央林間地区の特徴として、比較的に生産年齢層が多いということが挙げられる。しかし、勤務先等は他にあるという方がほとんどだと思われるので、単純に中央林間に住所があるというだけで、中央林間というイメージがあるために住んでいるという方はあまりいないのではないかな。
- そういった方々をこのまま中央林間に住んでもらえるようにするために目玉となる資源が必要だろう。中央林間の魅力などを発掘し、発信してもらえるような仕掛けがあると良いのではないかな。
- 世帯の約半分が民営借家に住んでいるので、人口の流動性は高いかもしれない。
- 市内での移動が多いかもしれない。市の南部に住んでいる方が都心へのアクセスが良いことから市の北部へ移動するという話を聞いたことがある。新しいマンションを分譲すると、市外からはもちろんだが、市の南部から移ってきたという方もいる。
- いただいたデータを見ると、共同住宅に住んでいる世帯が約75%で民営借家に住んでいる世帯が約50%なので、単純に分譲マンションに住んでいるのは全体の25~30%程度ということになるだろう。民営借家に住んでいる世帯は市内に限らず、もう少し広い範囲で移動しているかもしれない。
- この分譲マンションに住んでいる層を対象としない手もある。中央林間地区の戸建住宅に住んでいる方に対して、地区の価値を落とさないように地区計画や建築協定を活用するよう呼び掛けするという事も考えられる。
- ▼米軍のフラットハウスを住まいとしてだけではなく、商売として活用している若い方もいる。そのような点に価値を見出している方もいれば、その存在自体を知らない方もいるだろう。その価値に気付いてもらえるような仕掛けがあると、若い方にも興味を持ってもらえるかもしれない。
- ▼また、何もないと言いつつも一般人は入ることはできないが、中央林間地区には大きなゴルフ場もある。土日などの休日に利用するのは難しいかもしれないが、大人数が集まれるクラブハウスもあり、一つの目玉にはなる。神奈川県で行っている邸園文化圏再生構想の動きに似せたイベントもできるかも知れない。
- 地元の幼稚園や保育園が遠足などで訪れているというのは聞いたことがある。
- ゴルフ場が休みの平日には幼稚園の運動会も行っている。

- 過去の街づくり賞の事例を見ていると、中央林間地区で受賞している事例は比較的新しいマンションや分譲住宅が受賞している。中央林間地区ではこのような点が評価されていることがうかがえる。
- 住民にとって問題と感じられる事柄がなく、目玉がないということだが、現在、市全体でドラマなどのロケ地を提供している事業があるということを知った。実際に中央林間地区内でもロケ地として使われた場所がいくつかある。ロケ地として呼び込むことを目的に事業を行えば、若い世代にも受け入れられやすいのではないか。
- ▼市が積極的にロケ地を呼び込むために市の施設等をPRしているのは確かである。
- 市にフィルムコミッションがあるのか。
- ▼そうである。さまざまなPR活動を行っている。
- ロケ地になり得そうな箇所を探して歩けば、街を知っている人も知らない人も興味を持てるかもしれない。
- ロケ地を推薦すると題してまちの良いところを探すのは、地域に関心を持ってもらうという点では面白いかもしれない。
- ロケ地の面白いところは、きれいな場所だけでなく、あえて荒れているような場所も選ばれる点である。歴史的には大事なところである場合もある。
- それを価値のあるものと捉えれば、街の見方が変わるかもしれない。
- 大きい目的で考えるとブランディングという言葉になるだろう。バラバラになっている価値観をみんなで共有し、統一したブランドを見つける。ロケ地を探すというよりは、中央林間のブランドとは何かという大きなテーマがあり、その中の一つとしてロケ地に使われているというようなことがあるかもしれない。
- 写真を撮って送ってもらうというプログラムにすれば街づくり賞との親和性もある。基本的には募集を長期間とするか1日とするかというだけである。
- 当日投票に来られる方がいれば、自由に投票をしてもらい、上位に表彰するという形態もできるかもしれない。
- 似たようなイベントを開催しても、事前に写真を送る方式にすると送る方が少なく、幅が広がらない恐れもある。まずは当日の参加者を集めれば、デジタルカメラで気軽にプリントできる時代である。
- 当日集まっていた方に写真を撮っていただくツアーのようなものを開催するということか。
- そのようにできたら良いと思う。街の良いところを探そうと街歩きをしても、どうしても悪いところへ目が行ってしまう。また、ロケ地を探すことが目的ではないが、案内の方法としては有効かもしれない。中央林間地区に住んでいる方もそうでない市内、市外の方にもこの地区をアピールできるようになれば良い。
- 中学校や高校などの学校を巻き込むことはできるか。
- ▼急に頼むのは難しいが、依頼できないことはない。
- 今回の主旨とは外れてしまうかも知れないが、仮にロケ地を探そうというテーマになれば、ドラマ等の影響を大きく受けるのは中学生や高校生の年代だろう。撮った写真や映像を加工する技術を持っている生徒もいるかもしれない。
- ▼加工した写真等を事前に送っていただき、発表するような機会をつくるということか。
- そういうものがあっても良いかもしれない。

- 中央林間地区は人口が集中しており、人口密度が高いという傾向にある。実際に住民の話を伺う機会があるが、中央林間地区に住んでいる方は大和市にあまり意識がないように感じる。今回のイベントでもっと大和市に意識を持ってもらえるようになれば良い。
- 中央林間地区の方々に、大和をもっと知ってもらおうという基本的な意識が一つの目的になるのではないかと。大和市全体で考えても人口密度が高く、この人材も大和市の財産であるといえる。
- 中央林間地区の方々が大和市をどう思うかという視点もちろん大事ではあるが、市内の他地区に住んでいる方や市外の方にも中央林間を見てどう思うかというのも含めたい。その両方の視点からブランディングを考えたい。
- 自分たちと違う街を見て、自分たちの街のブランドに気付くということもあり得る。
- ▼方向性として中央林間地区を対象とした街づくり啓発事業を実施するという事で決まっているが、中央林間地区に住んでいる方だけ対象とするのではなく、他の地区からも来ていただいて様々な評価をしていただくのか。それとも、まず中央林間地区のことは中央林間の方々で考えていくのか。
- ▼対象が異なれば、周知の方法も変わってしまうので確認をしておきたい。また、街づくり学校のように数回に分けて一つの事業とするのか、街づくり賞表彰式のように短い時間に一回で終わらせるような事業とするのか。
- ▼今回は街づくり賞に変わる事業を考えるということだが、開催方法に拘らなければ、年度を越えて開催するにしても差し支えはない。また、どうしても何かを開催しなければならないというものでもない。
- ▼実施しようとしている事業が一回で終わらないようであれば、数回に分けても良いし。街づくり学校の専修コースと連携して開催するようにしても良いかもしれない。催しの内容もそうだが、進め方が決まれば、事務局として案を出しやすい。
- 中央林間地区のブランディングというテーマで開催するのであれば、2回に分けて実施すれば、一回目に街歩きと良いと思った箇所の写真撮影、二回目にはそのまとめを行う。地図で見るだけでなく、実際に現場へ行くことで得られるものも多い。回数が増えると参加できない方も多くなってしまおう。
- 写真のデータを集めるのにも時間がかかってしまうので、一回で済ませようとするので待ち時間ができてしまうため、間を埋めるプログラムが必要になってしまう。二回に分ければその必要はないだろう。
- 人を上手く呼び寄せられる企画のようなものができれば良い。
- 街づくり学校の専修コースには人が集まるものなのか
- ▼開催内容の決定や募集等はまだまだこれからなので言い難い。
- これから企画するのであれば、街づくり学校と連動して案を立てるということも可能と言うことか。
- ▼そうである。これまでいただいた様々な意見を一つにまとめて開催すると言うのはなかなか難しい。街づくり学校の中では、最後の発表に人を呼ぶという試みも行っているが、発表自体の準備でそこまで手が回っていないのが現状である。
- ▼発表のお披露目の機会を別に設定して開催することも案としてある。発表内容が街づくり学校参加者だけで共有するのは少々もったいないように感じる。
- 街づくり学校は基本的に三回開催して、街づくりの学習をしたいという方が対象となってしまうが、現在検討している事業はもう少し幅広く多くの方が参加できるようなものが良いだろう。

- 活動をしている方を呼ぶためには、あえて出番を作らなければ忙しくて来られない。欲を言えば、まとめの発表を行う際には、活動されている方の活動発表を入れても良い。
- 子育て世代の方を呼ぼうとするなら、スタンプや簡単なお菓子をプレゼントするなどのプラスになるようなものがないと難しい。これまで関心のなかった方や新しい層を呼び込むのであれば、これまでとは異なる視点が必要だろう。
- 誰を集めたいのか対象を定めないと事業は進まないだろう。理想を言えば、これまで街づくりに関わったことのない方に来て欲しいが、一つの事業として進めていくことを考えれば、市内で街づくりに多少なりとも関心のある方に来てもらった方が確実だろう。どちらを取るかで進め方も変わるだろう。
- 二回に分けて進めると言うことであれば、一回目には街づくりに興味のある方を集める。二回目は発表として、コミュニティセンターのような施設内で行うのではなく、駅前などの人通りの多い場所で発表会を実施してはどうか。行っていることは同じかもしれないが、効果としては全く異なる。
- ▼本日は可能か否かの判断はせず、どのような場の提供ができそうかを考えていきたい。ただ、予算の範囲内という条件はある。以前は街づくりフォーラムを市民参加で企画してつくりあげたこともあるが、それなりの準備も必要であった。
- ワークショップという場であれば、住民がどうしたいかという考えは重要だが、主催者側が何をしたいのかということもしっかり考えなければいけない。
- 一つのアイデアであるが、世田谷で街づくりを知ってもらうために街を紹介するポスターを作って、街の掲示板や商店街のアーケードに貼り出したことはある。準備がなかなか大変なので、すぐにという訳にはいかないだろうが、断片的に利用できるかもしれない。例えば、中央林間地区の良いところを紹介するポスターを作成するイベントなどがあっても良いかもしれない。
- デザインを専門にしている方も集まるかもしれない。作ったものを街に貼れるというのはデザイナーにとって嬉しいことだろう。
- ブランディングでよく行われるのは、記念写真スポットを探して決めてもらうことである。撮られた写真などをSNSなどに掲載すれば、その風景が世界中に広がることもある。ただし、その成果が目に見えないという難点は挙げられる。
- アイデアは色々出たと思うが、まとめられそうか。
- ▼出されたアイデアを挙げて、一つにまとめるのは難しいかもしれないが、中央林間地区のブランドをPRするという大まかな方向性は出されたように感じる。それらを踏まえどのような事業を行うのか検討していきたい。
- ▼出された意見についてまとめ、事務局でいくつか案を提示し、次回の会議の際に決定していただくようになるだろう。
- 事業の汎用性にも考慮していただきたい。事業スキームを組めば、他の地区でも応用することができ、将来的に継続して使えるようにできるというものが良い。
- 事業を目的とする対象を大和市に閉じず、近隣自治体にも広げられれば良い。人口移動は市内だけのものではなく、広い範囲で動いている。大和市だけで考えてしまうと、話が止まってしまうのではないか。
- 国の方針としてコンパクトシティを掲げているが、その意味では大和市は市自体がコンパクトシティであると言える。市内のほぼ徒歩圏に鉄道駅がある街は多くあるものではなく、高齢化率も低い。こ



れは大和市の強みである。

○そのような点からも、これからの街づくりには大和市の価値を下げないようにするという視点が重要だろう。

○そのあたりも考慮に入れて、事務局には今回の議論をもとに事業案の検討をしてもらうこととする。

#### 4. その他

◎次回の推進会議は、11月下旬から12月上旬を目途に日程調整をすることになった。

(その後の調整により、11月27日(木)14時からの開催が決定した。)

#### 5. 閉会

以上